

シリーズ 2

「グループで聖書を読む」ということ！

今回は、日本ナース・クリスチャン・フェロシッパの北澤 栄さんに書いていただきました。「看護」という特別な分野で働くクリスチャンの方々が、看護師自らのケアと成長を目的として、地域ごとに祈り、聖書のことばを学び、励まし合っておられます。

全人的ケアを受け、 与える者へと成長するために

日本ナース・クリスチャン・フェロシッパ
北澤 栄

私たちのグループ NCF (Nurse's Christian Fellowship) はナースのためのイエス・キリストを中心とした交わりで、看護を通して神の愛と栄光があらわされることを目的としています。1957年にイギリスで NCFI(NCF International)が誕生し、現在世界 36 カ国で活動しています。JNCF (日本 NCF) は主事である福嶋知恵子が神の召しを受けアメリカから帰国し、1983年伊勢原市の東海大学病院に勤務する二人の若いナースと学びを始めたのが最初です。現在日本 14 カ所 (東京、横浜、所沢、浜松、長野、佐久、名古屋、大阪、福岡、沖縄、函館、美唄、札幌、帯広) で月 1 回、聖書の学びと交わりがもたれています。

聖書は看護のテキストブックです。聖書を読む会が帰納法 (Inductive) による学びを大切にしておられるように、JNCF も「基礎の学び」と看護独自のバイブルスタディガイドを用い、小グループでの学びと交わりを大切にしています。イエス様がリーダーとなって導き、集う一人ひとりの必要に応じて私たちを全人的に成長させてくださるからです。

発足当時、福嶋主事は聖書の語っている神はどういうお方か、罪について何と言っているかを知ってもらおうと苦心していました。

その頃、「聖書を読む会」のボーエンさん、フライシュマンさんを訪ねる機会が与えられ、日本人が聖書の教える神観、罪観を知ることが第一だと「基礎の学び」を紹介されました。彼女たちは NCFI の総主事を通して、すでに福嶋を知っていて、NCF の働きと日本のナースのために祈り続けて下さっていたのです。福嶋は神の備えのタイミングの完全さを経験させられたと語っています。

「私とは何者なのか?」「生きている意味は?」「看護の真のよろこびとは?」とナースも悩みます。聖書を土台とした学びを通して神と私、私自身、他者と私の関係を私たちは知ることができます。特に「基礎の学び」からクリスチャンナースも、また、初めて聖書を開くナースも聖書の神と出会い、神のご性質を知り、聖書の人間観を学ぶことができます。「神から見た私は尊い者である」ことを発見し、神との和解がイエス様を信じる信仰によって与えられる喜びを体験しています。人をケアするナースである前に自分自身が神様のケアを受け、癒される必要があることに気付かされます。また、誰もが全人的 (身体、社会、心理的、神を求める霊的) なニーズがあることを学ぶことができます。神様の癒しを受けた私たちナースは、言葉にならない患者さんの深いニーズに気付きケアするために遣わされます。真の癒しと希望を与えてくださるイエス様を指し示す者として。みことばによって神様を個人的に知り、真の自由が与えられ神様と他者に仕える者へ成長することができますのです。

「聖書を読む会」の尊いお働きに感謝しています。